

対馬保健所管内における感染症情報

令和7年 第23週（6月2日～6月8日）

1. 定点把握対象疾患

発生状況	疾患名	定点当たり（人）		報告数	内訳			発生年代等
		前週 (22週)	今週 (23週)		対馬 病院	上対馬 病院	豊玉 診療所	
↓	(季節性)インフルエンザ	6.00	5.33	16	15	0	1	10歳未満：4名 10歳代：11名 30歳代：1名
↑	新型コロナウイルス感染症	0.67	1.33	4	1	3	0	10歳代：1名 20歳代：1名 60歳代：1名 80歳以上：1名
	RSウイルス感染症	-	-	0	0	0		
警報	咽頭結膜熱	1.50	1.50	3	3	0		6～11か月：2名 1歳：1名
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	-	0.50	1	1	0		7歳：1名
	感染性胃腸炎	-	-	0	0	0		
	水痘	-	0.50	1	1	0		2歳：1名
	手足口病	-	-	0	0	0		
	伝染性紅斑（リンゴ病）	-	-	0	0	0		
	突発性発しん	-	0.50	1	0	1		4歳：1名
	ヘルパンギーナ	-	-	0	0	0		
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	-	-	0	0	0		
	細菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	無菌性髄膜炎	-	-	-	*基幹定点			
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	*基幹定点			
	クラミジア肺炎【オウム病は除く】	-	-	-	*基幹定点			
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	-	-	-	*基幹定点			
↑	急性呼吸器感染症（ARI）	49.67	50.67	152	ARI 定点			

2. 全数把握対象疾患

発生無し

3. トピックス、季節情報

◆咽頭結膜熱の報告が警報レベルです。

・アデノウイルスの感染により発症する感染症です。通常、6月頃から徐々に流行し始め、7～8月にピークとなります。プール利用時の接触やタオルの貸し借り等で流行したことがあるため、「プール熱」とも言われています。

・感染経路：飛沫感染、手指を介した接触感染

・症状：発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎を認め、高熱が比較的長く（5日前後）続くことがあります。

・治療法：特別な治療法はなく、ほとんど自然に治ります。症状が強い時には、早めに医療機関に相談してください。

・予防方法：基本的な感染予防対策（手洗い、うがい等）である程度は予防することができます。

流行時には、感染者との密接な接触、タオルの共有は避けましょう。

◆ダニ媒介感染症に注意しましょう

・マダニ類は「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」を媒介し、ツツガムシ類は「つつが虫病」を媒介します。

SFTSは、発熱、消化器症状が主な症状で、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴うこともあります。重症化すると死亡することもあり、致死率は10～30%といわれています。

予防のポイント

マダニに咬まれないようにすることが重要です。

農作業や庭仕事、レジャー等、野外で活動する際には

① 長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴等を着用して皮膚の露出を少なくし防虫スプレーを使用する

② 作業後は身体や服をはたき、ダニに咬まれていないか確認する。

ダニに咬まれたら…

ダニに咬まれても、痛みや痒みはあまりなく、気づかないことが多いようです。野外活動後の着替え時などに、ダニが吸着していないか確認して下さい。